

NPO法人グローバルリーダーシップ・アソシエーション(GLEA)のメールマガジン第129号をお届けします。ご意見・ご感想は<glea@npo-glea.org>まで。

◆今号の内容

1. トピックス
2. 最新の活動情報
3. これからの活動情報 第19回交渉コンペティション・プログラム
4. コラム 大澤恒夫会員(弁護士)

1. トピックス

◆【第1回】GLEAリーダーシップ・ミニセミナー(<https://youtu.be/RxmR11B7Y2c>)で使用したスライドを公開しました。

<http://nomurakn.blogspot.com/2020/08/glea-1glea123.html>

* 第2回以降のミニセミナーは「ファシリテーション とリーダーシップ」や「メールで学ぶ交渉とリーダーシップ」ほかを準備中です。

◆NPO法人GLEA年会費のお願い

4月末に会員の皆様宛てに「令和2年度会費のお願い」を送信させていただいております。会員の皆様には、本年度も是非ご協力のお力添えをいただけますと幸いです。

2. 最新の活動情報

◆ 交渉教育研究会 コロナパンデミックによって中断していました交渉教育研究会が、8月24日(月)18:30~20:30にzoomによる遠隔会議により行われました。テーマは「問い」開発プロジェクト:問題解決の前提として、問題を発見する力をどのように養うか。「1. トピックス」GLEAリーダーシップ・ミニセミナー と関連付ける予定です。

◆ 大学対抗交渉コンペティション8月練習試合

大学対抗交渉コンペティションの練習試合が 8月23日日曜日と24日月曜日にZOOMミーティングにより行われました。問題は昨年度の交渉コンペの問題日本語版(http://www.negocom.jp/pdf/upload/018/18th_problem_j_1104.pdf)で、一日目は仲裁、二日目は交渉でした。今回の参加大学は、大阪大学、京都大学、同志社大学、立命館大学、西南学院大学。

3. これからの活動情報

◆第19回大学対抗交渉コンペティション

現状、プログラムは以下を予定しておりますが、今後、Zoomによる実施の詳細を詰めていく過程で、若干の変更の可能性があります。

詳細は運営委員会<inc.steering.committee@gmail.com>まで。

<11月14日>

11:00-11:45 審査員打合せ
12:15-12:45 開会式
13:00-17:00 ラウンドA(仲裁)(準拠規範:UNIDROIT原則2016)
17:00-17:30 審査
18:00- 交流イベント(現在、検討中です)

<11月15日>

11:00-11:45 審査員打合せ
12:30-16:30 ラウンドB(交渉)
16:30-17:00 審査
17:00-18:00 閉会式

また、大会までのスケジュールは以下を予定しております。

説明会:9月13日(日)10時より(日本語)、14時より(英語)。いずれも1時間半程度を予定。
問題・規則・参加登録方法の公表:9月14日(月)

第1回質問期限:10月9日(金)午後3時

参加登録期限:10月9日(金)午後3時

組合せ発表・秘密情報の送付:10月12日(月)

第2回質問期限:10月16日(金)午後3時

第3回質問期限:10月23日(金)午後3時

ラウンドA準備書面提出期限:11月4日(水)正午

ラウンドA反論書提出期限:11月10日(火)正午

4. 今月のリーダーシップ情報【コラム/column】

大澤 恒夫会員(弁護士、当法人理事)

コロナ禍がもたらしたZOOM授業の試行から分かったこと

2020年新学期、コロナ禍の渦の中で、大学は軒並み登校禁止となった。さて、間もなく始まる授業をどうするか?!(弁護士としての仕事は、私はもともと自宅兼事務所で在宅勤務がデフォルトだし、“どこでも事務所”と称して鞆一丁でMobileノマドワークをしてきたので、まったく問題なし。)

YouTubeを見ていると、中学校の英語の教員の方がZOOM授業を熱く語りかけているのが目に留まった。「子供達には学ぶ権利がある。われわれ教員が動かなくてどうするのか!迷わずZOOMで授業を始めよう!」ZOOMの使い方も詳しくレクチャーされており、思わず見入ってしまう(広告表示、一切なし)。この訴えかけにエネルギーをもらった。よ~し、とにかくZOOMで授業をやってみよう! ということで、4月の第1回授業からZOOMで双方向授業を開始した。以下、ZOOM授業の試行で分かったいくつかの点を書き出してみる。

・通学(通勤)がなく、身体は楽ちん。往復時間なしで余裕が生まれる(その活用が課題)。

・レクチャーや質疑応答は、リアルでもZOOMでも全く変わりがない。ZOOMの方が受講者から声を上げやすいという声も。・グループ(ペア)ディスカッションも対面だけの専売特許ではなく、ZOOMでもブレイクアウト・ルームを使えば、遂行できる。

・私は問題解決に当たり、テキストや考えをビジュアル化して全体の構造を示すことができるようにすることを重要なスキルと考えている。そこでリアル教室では、グループで一つのホワイトボードを囲んで議論しながら手書きで図や文章を書きこんで、一覧性のある成果物を作成してもらい、それを参加者とレビューする。ZOOMではホワイトボード機能はあるが、画面が小さすぎるし、手書きで書き込むにはペン書きできるツールが必要。それで授業中にビジュアル化をしてもらうのではなく、参加者個々人に予めビジュアル化した資料を作成・提出してもらい、授業ではそれらの資料を画面共有して全員でレビューする方式にした。リアル教室のホワイトボード方式では、メンバー個々人の主体的な参加が見えないが、ZOOM方式であれば全員がそれぞれ独自のビジュアル化をしてくる。それらは個性的であり、作図の意図や工夫の説明を受け、他のメンバーはなるほど、そういうアプローチもあったか！と感嘆する。

・能面ロールプレイ(能面のような無表情・無反応な人に向かって話をすると、いかに苦しいかを実感する)は、ZOOM上でもできないことはないが、リアル教室で直接対面したほうが、息苦しさの質感が違う。

・逆腕相撲大会(相手と組んだ自分の腕の甲を自分(右)側に引き倒して、何回机につけられるか)といった身体的な接触が求められる実践は、ZOOMではできない。

・それからもう一つ、大事なことを忘れていた。リアル教室ではこれから、マスクの着用が(当面)必須とされるのだろう。ZOOMではマスクは不要。欧米の人々は口元から人の表情を受け取る傾向があるという(-)。日本人は目元から受け取るという(^); この要因はリアルとZOOMでどのようになっているだろうか？

それにしても、YouTubeでZOOM授業を熱心に訴えかけておられた教員の方のリーダーシップには脱帽、深く感謝したい。

情報募集中

メールマガジン「グローバルリーダーシップ通信」で、
会員の皆様に発信されたい内容や活動等がございましたら、
毎月20日頃迄に事務局までご連絡下さいますようお願い致します。

本メールマガジンについて

配信先ご変更や配信ご不要の場合は、件名に「配信先変更」又は
「配信不要」と明記してglea@npo-glea.org迄ご連絡下さい。

=====
発行元:NPO法人グローバルリーダーシップ・アソシエーション

発行責任者:野村 美明

編集者:GLEA事務局 野村 美明

(TEL)070-6560-2633

(FAX)06-6853-3081

(E-mail)glea@npo-glea.org

ウェブサイト <http://www.npo-glea.org/glea/>

=====